

日本の伝統建築修理の技術は、木・草・土などの脆弱な自然素材で地震や台風に耐える構造と豊かな建築空間を生み出してきました。さらに、法隆寺をはじめとする歴史的建築遺産に不可欠な保存修理においては、建築当初の部材とやむを得ず取り替える部材との調和や一体化を実現する高度な技術で、棟梁を中心とする職種を越えた組織の下、伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきました。

歴史的建築遺産と技術の継承を実現する適切な周期の保存修理は、郷土の絆や歴史を確かめる行事でもあります。多様な森や草原等の保全を木材、^{ひわだ}檜皮、^{かや}茅、漆、い草などの資材育成と採取のサイクルによって実現し、持続可能な開発に寄与しています。

「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」のユネスコ無形文化遺産への登録は、日本の木造建造物や建築文化を支える無形文化遺産の保護・伝承の事例として、世界の建築に関わる職人や専門家との技術の交流、対話が深められ、国際社会における無形文化遺産の保護の取組に大きく貢献するものです。



建造物修理

建造物木工

建造物装飾



ユネスコ無形文化遺産

木造建造物を受け継ぐための伝統技術

伝統建築 工匠の技

ユネスコ無形文化遺産に登録されました

でんとう けんちく こうしょう 伝統建築工匠の技

木・草・土などの自然素材を生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、部材の調和や一体化など、建築遺産とともに古代から伝統を受け継ぎ、工夫を重ねて発展してきた伝統建築技術。

建造物修理 けんぞうぶつしゅうり

古代の社寺をはじめ、あらゆる時代・分野・構造の日本の文化財建造物の調査、修理設計、技術指導など保存修理の設計監理を行う。

- 選定年月日
昭和51年5月4日
- 保存団体名
(公財)文化財建造物保存技術協会



檜皮採取 ひわださいしゅ

屋根葺の一種で社寺に多く見られる檜皮葺に用いる材料を、80から100年生以上の檜の立木から、樹皮の檜皮を剥ぎ取り加工する技術。

- 選定年月日
平成30年9月25日
- 保存団体名
(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会



建造物木工 けんぞうぶつもっこう

木造が主流の日本建築における、古式の技術が受け継がれてきた木工の技術。

- 選定年月日
昭和51年5月4日
- 保存団体名
(公財)文化財建造物保存技術協会
(一社)日本伝統建築技術保存会



屋根板製作 やねいたせいさく

柿葺、栩葺、瓦葺下地の土居葺に用いる屋根板を、木材を手作業で割り、形状を整えて製作する技術。

- 選定年月日
平成30年9月25日
- 保存団体名
(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会



檜皮葺・柿葺 ひわだぶき・こけらぶき

社寺に多く見られる樹皮や板を用いた、日本の伝統的な屋根葺きである檜皮葺・柿葺の技術。

- 選定年月日
昭和51年5月4日
- 保存団体名
(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会



茅採取 かやさいしゅ

農山村の民家に多く見られる茅葺に用いるための、ススキやヨシ等を育成し、採取する技術。

- 選定年月日
平成30年9月25日
- 保存団体名
(一社)日本茅葺き文化協会



茅葺 かやぶき

古くから建造物の種類と地域を問わず、広範囲に用いられてきた草で屋根を葺く技術。

- 選定年月日
昭和55年4月21日
- 保存団体名
(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会



建造物装飾 けんぞうぶつそうしよく

建造物を華麗に彩り、部材の保護の役割も果たす、漆塗、彩色、銚金具、鋳物、鍛冶などの技術。

- 選定年月日
平成19年9月6日
- 保存団体名
(一社)社寺建造物美術保存技術協会



建造物彩色 けんぞうぶつさいしき

大陸直伝の技法から日本的なものとして洗練され華麗な発達を遂げた、建造物内外に豪華絢爛な彩色を施す技術。

- 選定年月日
昭和54年4月21日
- 保存団体名
(公財)日光社寺文化財保存会



建造物漆塗 けんぞうぶつうるしぬり

建造物を荘厳するために欠かせない、独特の色艶を持つ漆塗の、漆の調合から仕上げに至る技術。

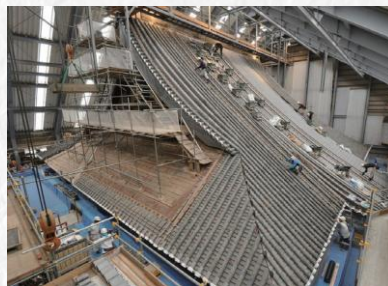
- 選定年月日
平成28年9月30日
- 保存団体名
(公財)日光社寺文化財保存会



屋根瓦葺(本瓦葺) やねがわらぶき (ほんがわらぶき)

古代の寺院建築からはじまる本瓦葺の屋根において、新旧の瓦の調和をとり、風雨に強く、優美な曲線で葺き上げる技術。

- 選定年月日
平成6年6月27日
- 保存団体名
(一社)日本伝統瓦技術保存会



左官(日本壁) さかん (にほんかべ)

茶室などの味わい深い古式京壁や城郭などの輝く漆喰壁を、強く美しく塗り上げるための、素材の吟味から施工にわたる左官の技術。

- 選定年月日
平成14年7月8日
- 保存団体名
(一社)全国文化財壁技術保存会



建具製作 たてぐせいさく

多様で繊細な木材を用いた意匠と、人の手に触れて可動する機能を兼ね備える建具を、様々な道具を駆使して修理や製作する技術。

- 選定年月日
平成11年6月21日
- 保存団体名
(一財)全国伝統建具技術保存会



畳製作 たたみせいさく

日本独特の敷物である畳を、部屋の形状を正確に採寸し、稲藁・麻糸・い草で製作し、畳縁の紋様を美しく縫い合わせる技術。

- 選定年月日
平成16年9月2日
- 保存団体名
(一社)文化財畳技術保存会



手織中継表製作 ておりなかつぎおもてせいさく

畳表製作のひとつ。両端からい草を通して織り、太さが均一でない草の中間部分を使用して良質な畳表の製織を可能とする技術。

- 選定年月日
令和5年10月18日
- 保存団体名
(一社)文化財畳技術保存会



装潢修理技術 そうこうしゅうりぎじゆつ

絵具を用い紙に描かれる障壁画について、紙の損傷部の補填や絵具の剥落止を行うとともに、何層もの裏打紙を新調する修理技術。

- 選定年月日
平成7年5月31日
- 保存団体名
(一社)国宝修理工装潢技術保存会



日本産漆生産・精製 にほんさんうるしせいさん・せいせい

漆は塗装や接着に欠かせない原材料。漆樹を栽培・管理し、鎌で幹に傷をつけて漆液を採取し、精製する技術。

- 選定年月日
昭和51年5月4日
- 保存団体名
日本文化財漆協会
日本うるし掻き技術保存会



縁付金箔製造 えんつけきんぱくせいぞう

特殊な手漉和紙を、箔打ち用に仕込み、金を挟んで打ち延ばし、厚さ1万分の1ミリの金箔を製造する技術。

- 選定年月日
平成26年10月23日
- 保存団体名
金沢金箔伝統技術保存会

